

にっち音声工房

『淫魔トリスのお下劣ドスケベ夢幻交尾 熟』

・ Chapter 1 「導入」

…ようこそ。
ここは夢と現のはざま。

ワシの名はトリス。
淫魔や夢魔、サキュバスなどと呼ばれている存在じゃ。

強い欲望のニオイに導かれ、今宵、ワシはおぬしの元に辿り着いた。

鬱屈した日々の中で、ずいぶんと心に膿を溜め込んでいるようじゃのう。
今宵はワシが、おぬしの中のドロドロとした感情をすべて、吐き出させてやろう。

なあに、案ずることはない。
欲求の解消と引き換えに、おぬしの精気をほんの少々、いただくだけじゃ。

ワシに食事を提供してくれれば、おぬしは明日の朝、すっきりと目覚めることができるじゃろう。

迷うことはない。

このままワシに身を委ね、快樂の中で己を解放するがよい。

さあ、取引じゃ。

己の心に従い、どうしたいのか答えよ。

・チャプター２「手コキ→フェラチオ→精飲」

フフフフフ…。

男として、その決断は当然じゃな。

股間でおっ勃ったその男根が、欲求不満の何よりの証。

堪え性のない、愚かなオスの本能よ。

恥じることはない。

そんなおぬしだからこそ、ワシに選ばれたのじゃ。

おぬしの濁った心のウミを、ワシがすっきりと吐き出させてやろう。

…まずはこの手で、淫魔の手と指で、おぬしのソコを慰めてやる。

熱く高ぶる男の肉を、ワシの手でこうやって触れて、シゴいて、果てるまでもてあそぶのじゃ。

…ほれ、どうじゃ？

ワシの指が、おぬしのマラの表面をなぞっているぞ。

血管の浮き出た、バキバキのペニス…。

硬くそそり立つ、オスの肉…。熱く燃える、勃起チンポ…。

サキュバスの冷たい指先が、吸い付くようにおぬしの肉棒を包み込んで、ほれ。
さわさわと、ゆっくりシゴキあげていくぞ。

集中せよ。股間のビンビンマラ肉に。
おぬしの欲望が詰まった、勃起チンポの感覚に。

シコシコ、シコシコ、チンポを手コキ。
淫魔の手コキで、感じるがよい。

チンポ。チンポ。チンポ。チンポ。
オチンポ、シコシコ。チンポコ、シコシコ。

ズリズリ、シコシコ、ズリシコチンポ。
肉棒、マラ肉、オス肉チンポ。バキバキビンビン勃起オチンポお。

サキュバス淫語でチンポコキ。
ワシの淫らかな言葉をオカズに、もっともっと、勃起せよ。
チンポを勃起。勃起、勃起、勃起い。

かた〜く、ぶっとく、ガチ勃起い。
限界勃起のオスチンポお。

ワシの細指でいじられて、我慢できなくなってきたのか？
悪魔の淫語手コキで、こんなにオチンポ、勃起させているんじゃない？

ひとコキごとに、張り詰めた肉がビクンと跳ねて、いつ暴発してもおかしくなさそうじや。
まだまだ我慢じゃ。射精は我慢じゃ。
限界ギリギリまで我慢した先に、最高の快楽が待っておるからのう。

ほお〜れ、ほれほれ。
チンポお〜。チンポお〜。オチンポお〜。

オチンポ、ズリズリい。オチンポ、シコシコお。
オチンポ、ズリシコ、ズリズリ、シコシコお。

もっとじゃ、もっと。
オチンポ感覚をもっと高めるのじゃ。

ひとりでむなしくマスカキするより、もっと、ずっと、気持ちがよいはず。
ワシの、淫魔のオチンポコキで、おかしくなるくらいに感じるのじゃ。

ほおれ、ほれほれ、オチンポ、シコシコお♡
勃起チンポをシコシコ、手コキい♡
人間オチンポ、淫魔が手コキ♡

この淫魔トリスが、スケベな淫語で、オスの性欲処理してやろう。
オス肉チンポのザーメン排泄、シコシコシコお〜っと、トリスがヌキヌキいっ♡

んっはぁ♡ 亀頭の先から、くっさい先走り汁が、トロトロ漏れ出しておるわ。
愚かな人間が、異形の存在にその急所を握られて、快感の涙を止められずにおる。

フフフフフ、それでよい。それでよいのじゃ。
そのままチンポ快楽に身を委ねよ。オチンポ手コキでカウパー汁ダダ漏れにするのじゃ。

ワシのために質のよい精を吐き出してくれたら、もっと褒美をやってもよい。
美味なるザーメンを提供してくれたならば、ワシと、この淫魔トリスと、もっと気持ちの
よいことをさせてやろうではないか。

ほおれ、想像するがよい。

ワシと、どんなことがしたい？

どんなに淫らで、倒錯した、スケベで、ドエロい、快楽を、おぬしは望む？

およそ人間の思いつくような行為ならば、なんでも、どんなことでも、ワシが叶えてやろう。

おぬしのチンポが、魂が、何を求めているのか…、ほおれ、その脳裏に描くのじゃ。

その想像力を、エロエロな妄想を、このワシに見せつけてみよ。

おぬしがワシの身を捧げるに足る存在かどうか、示すがよい。

他人には言えない、その汚らわしい、恥ずべき、下品な、欲望を。

思い描きながら、チンポをもっと勃起させるのじゃ。

んっはぁ♡ チンポ、チンポ、オチンポお♡

低俗な人間の、下劣なオスマラが、ガッチガチの、ビンッビンの、フル、勃起いっ♡

はぁっ♡ 熱いっ♡ チンポが熱いっ♡

オス肉チンポが、アツアツうっ♡

なかなか骨のある、よいチンポじゃ♡
おぬしのフル勃起チンポ、気に入ったぞ♡

ああ、んはあ、オスのニオイをプンプンさせおって♡
チンポカウパーだだ漏れの、オス肉チンポの、ニ・オ・イいい♡

ああ、んん、んすううううう。
…あはああああ♡

淫魔の食欲を刺激する、よい香りじゃ。
なんともかぐわしく、ドスケベなニオイじゃ♡

オスくさチンポを嗅がされて、ワシの飢えも、だんだんと抑えが効かなくなってきおった。

どれ、おぬしのチンポがどんな味か、ワシの口で味わってやろう。
トリスのフェラチオで、このバキバキの肉棒をさらに気持ちよくさせてやろうぞ。

…んん、んっへえええあ、ああむ。

んむ、んん、んふう。んあ、んへえ、んぶう。
んふう、んむ、んぶ、んちゅ、んぼ、んっちゅう。

んあはあ、んぶちゅ、んちゅる、んぶ、んへえろ、じゅる、ちゅぶ、んへえろん。
んへえ、んぶ、じゅる、じゅぶ、ぶじゅ、じゅるる。じゅぶ、えろ、えへえええ。

「どうじゃ？　ワシの口の中は？」

「淫魔のフェラチオは、人間の女など比べものにならぬほど、心地よかろう？」

ええ、んへえ、えろん、ええろん。んちゅう、ちゅ、んへえええろ、えろん。
んぶ、えろ、ちゅる、んちゅる。じゅちゅ、んへえあ、えるえる、んへえろ。

んへえむ、えろえろ、んじゅちゅる、ぶちゅる、んへえあ、ええろん、えるえる、えろお
お。

ああむ、んえろ、ちゅぶ、むちゅ、ちゅちゅ、ちゅえろ、えへえろ、えるん、えるえる、
んへえろお。

「おぬしの生ぐさオス肉チンポが、

先走りのチンポエキスを垂れ流しながら、

ワシの口の中でビクンビクンと震えておるわい」

んぶ、ぶちゅ、ぶちゅるん。ちゅぶ、ちゅぼ、ちゅばば。
ぶちゅ、ぶぼ、ぶぼぼ。ぶちゅるん、ちゅぶ、ちゅば。
ぶじゅるん、じゅるじゅる、じゅるるん、じゅぶば。

んぶ、ぶちゅ、ちゅぶぶ、んへ、あむ、んああむ。
んちゅ、ちゅる、ずちゅる、ちゅぶ、ぶぶ、んぶぼ、ぶちゅ、じゅる、ずちゅる。

「ほれほれ、もっと奮い立たせろ。
おぬしの欲望の猛りを、ワシの口マンコで味あわせてみろ」

んずず、ちゅぶ、ちゅる、ずちゅ、ちゅぶ、ぶぶ、んぼぼ。
んじゅちゅる、ちゅぶぼ。ぶちゅ、ちゅちゅ、ちゅぶ、じゅろろ。

んあ、じゅる、ずるる。じゅちゅるる、んふ、んは、あふうん、ぶちゅるん。
んぶ、ぶじゅ、ずるるん、んあ、んぶ、ぶじゅずず。あぶ、ぶぼ、んぶぼ、ぶちゅ、ちゅ
るじゅる、んぶぼおっ。

「ほおれ、オチンポおっ。チンポ、チンポ、チンポ、チンポお」
「淫魔のフェラチオ、オチンポしゃぶりい。じゅぽじゅぽべろべろ、舐めしゃぶるう」

えああむ、んべろ、えへえろ、えろえろ。べぶぶ、べるべろ、えべえろべろべろ。
んべるる、べるん。えべべろ、んべえろん。
んぶべろ、べろえろ、えべええろ、べろおん。

えへえむ、えろべろ、んべろん。
えべえろ、べろべろ、べるん、えっへえ、んへえろおん。
あっへえ、んべろおん、えろえろおん。
んぶ、あぶ、んべえろ、べろべろ、べえろおおおん。

「ああ、チンポお。チンポチンポ、チンポお♡」
「うまい、うまいぞ、おぬしのチンポコ。
勃起チンポのフェラチオで、ワシも興奮してきたぞお♡」

ねろん、んへろん、ええろ、ええろ、じゅる、えろん。
ねえろ、んれえろ、れろれろ、えへえええろん。
んへえろ、えろえろ、んべえろ、べろん。

んべえええろ、べろべろ、えへえろん。れろれろべろべろ、れろん、んべろん、べえろ
ん、べえろん、じゅるべえろん。

んはあむ、んぶぶ、んじゅ、じゅる、じゅぼ、じゅぶ、ぶっちゅう、ぶちゅう。
んちゅ、ちゅぶ、ぶぶ、ぶぼ、ぶばぼ。
むっちゅう、ぶちゅ、ちゅう、ちゅる、じゅる、ぶじゅるる。
ちゅぼ、ちゅぼ、ちゅぼぼ、ぶちゅるる、ぶっちゅう、ちゅぶ、ぶば、ぶぼぼ、ぶぼっ、
ぶぼっ、ぶじゅぼっ。

「チンポが勃起、勃起、勃起、勃起い」

「人間ふぜいのオス肉チンポが、サキュバスくちマンコを犯しておる」

じゅる、じゅぼ、じゅぶぼっ、ぶちゅる、ちゅるじゅる、ぶじゅるる、じゅぶ、ずちゅる
ん。
ちゅぼ、ずちゅ、じゅちゅ、じゅる、じゅるる、ずちゅるん、ちゅじゅぼ、ずじゅちゅ
る、ちゅるじゅぼっ。

んふう、んぶ、じゅぼ、じゅぞ、じゅる、んぶ、ずぞぞぞ。
ぶぼ、ぶば、ぶぼぼ、じゅるるる、ぶぼ、じゅぶぼぼっ。

「人間チンポにみっともなく吸い付き、鼻の下を伸ばして、下品にひょっところお♡」

「ワシのドスケベなひょっところおフェラ顔で、もっともっと興奮するのじゃ♡」

ぶっぱ、ぶっぱ、じゅるぞぞ、ずぞぞ。んん、んぼっ、ぶぼっ、ぶぼっ、ぶぼぼぼっ。
んぶうっ、んぼっ、ぶぼっ、じゅるぞぞ、じゅぶぼぼっ。
んん、んぶっ、じゅるる、じゅぼ、んじゅぼおっ。

んっむう、んばぼっ、んぶぶぶっ、じゅぞぞっ。
じゅる、ぶちゅ、じゅろろ、んっぶう、んぼぼおっ。
んっぶ、んっぶ、んっへえ、んぶぶっ。
ぶちゅるる、じゅるろろ、ずちゅるる、じゅぞぞぞおっ。

「ひょっここっ♡ ひょっここっ♡ ひょっここおフェラあっ♡」
「淫魔トリスのお下品フェラチオっ♡ 人間チンポを、ひょっここフェラチオおっ♡」

ずるる、じゅるれろ、あむ、んぶ、んぶぼっ。
ぶじゅ、じゅる、ずじゅずず、じゅぶ、ぶぼ、んぶぼぼっ。

あむう、んぶ、んぼっ。ぶちゅるる、じゅぼぼっ。
んぼっ、んぼっ、んっふう、ずぞぞぞっ。
んぶう、ぶぼ、じゅる、じゅずぼぼ、じゅぶ、んぶ、んぼぼ。
じゅちゅ、ちゅる、じゅぶ、じゅぞぞぞぞぞおっ。

「ほれほれ、どうじゃ？ 人間ごときには耐えられまい？」

ぶじゅる、じゅぶぶぼ、んふ、ずちゅ、じゅる、じゅぶぶっ。
じゅぷっ、じゅぽっ、じゅぶぽっ、じゅっぷ、じゅっぷ、じゅっぷ、じゅっぷ、ぶぽっ、
ぶぽっ、ぶぽぽっ。

「我慢することはないのじゃぞ？」

「ワシのクチマンコに、一番搾りの子種汁、たっぷり注いでかまわぬぞ？」

じゅぶぽっ、じゅぶぶぽっ、んぶっ、んぽっ、ぶちゅるる、ずぞぞっ。
ぶじゅるる、じゅぶれろ、ずろろ、ずろろろ。
じゅぼぼ、じゅぼぼぼ、ずるじゅぶ、じゅぶぼぼっ。

じゅぞっ、ずぞぞっ、ぶじゅるる、んぽっ、じゅばぽっ。ずず、ずる、じゅぼぼっ。
んっぼ、んっぼ、んっぼ、んっぼ、ぶぼ、ぶば、じゅばば、じゅず、ずぼ、ぶぼぼぼっ。

「んっふう、チンポお♡ チンポ膨らむう♡」

「ビクビク脈打つチンポから、イケイケ、出せ出せ、チンポ汁、出せえ♡」

「ザーメン、ドピュドピュ♡ ドピュッ♡ ドピュッ♡ ドピュドピュドっピュ〜♡」

んぶっ、ぶぶ、んぶぶっ、じゅっぱ、じゅっぱ、ぶじゅるる、じゅぶばぼっ。
ぶぼっ、んぶぶう、じゅる、じゅぼ、んぶぼおっ。
じゅぶっ、じゅぼっ、じゅぶぼっ、じゅっぶ、じゅっぶ、じゅっぶ、じゅっぶ、ぶぼっ、
ぶぼっ、ぶぼぼっ。

ぶぼっ、ぶぼっ、ぶぼっ、ぶぼっ、ぶぼっ、ぶぼっ、ぶぼっ、ぶぼぼぼっ。
ぶっぼ、ぶっぼ、ぶっぼ、ぶっぼ。ぶじゅぶぼ、ずるる、じゅぶっ、じゅぼっ、じゅぼぼ
ぼぼっ。

んぶっ、んん、んぶぶっ！
んんん、んぶっ、ぶもっ、んぶもおっ！ んぶうっ、んぶっ、んんんんんんっ！

「出ておる♡ 出ておる♡ ドップドップ、出ておるう♡」
「濃厚オスマラ子種汁じゃあ♡」

んん、んふ、んっふう。んっ、んふ、んんう。
んふう、んふ、んん、んむ、んふ、んっふう。

んん、んぶ、んっふう、んむ、じゅる、んぶう…じゅうっぽん。

んあ、んへ、えっへえええ。

んへ、じゅる、んっへえ。じゅるじゅる、にちゃり、くちゅ、くちや、くっちやあ。
えへえ、んちゅ、じゅる、くちや、にちや、じゅるるう。

「ほおれ、ドロッドロのザーメンが、チンポ汁が、
ワシの口の中をいっぱい満たしておるぞ♡」
「くっさい、くっさい、キンタマミルクじゃ♡」

くっちや、くっちや、にっちや、んじゅるん。
えへえむ、んちゅ、んちゅる。じゅるじゅる、ずちゅる。んっちや、くっちや、くちゅく
ちゅ、んちゅるう。

「むせかえるようなオトコのニオイじゃ♡ 淫魔を昂ぶらせる欲望の味じゃ♡」
「ザーメン♡ ザーメン♡ チンポ汁う♡」

くちゅ、じゅる、ぐちゅ、ぐちゅ、ちゅる、じゅる、ずちゅるん。
くちゅくちゅ、くちゅくちゅ、くちゅくちゅくちゅくちゅ、んっちゅ、ぐっちゅ、ぐっち
ゅ、ぐっちゅう。

…んはあ、んん、んぐ、ごきゅ、ごきゅ、ごくり。

んふう、んぐ、ごきゅ、んん、ごっくん。

…んぶっ、んっはあ♡ ああ、んん、んっふう♡

いやいや、じつにワシ好みの、浅はかで愚かで欲深いオスの味わいじゃった。
おぬしの醜い欲望のほとぼしり、確かにワシが飲み干してやったぞ。

…しかし、ああ、まだ足りぬ。これではまだまだ、ワシの腹は満たされぬ。

おぬしももっと心地よくなりたいじゃろう？
おぬしが求めるのならば、ワシのカラダのすべてを使って、さらなる恍惚へといざなおう
ではないか。

さあ、どうするのじゃ？
この淫魔トリスの肉体を、むさぼり、つらぬき、犯しぬいてみたくなはないか？

…フフフフ。
良い返事じゃ。それでこそワシの見込んだ男よ。

それでは…、ほおれ、こちらへ、来るのじゃ♡

・ Chapter 3 「連続中出し交尾」

…よいぞ。そのまま、そのまま来るのじゃ。

ほおれ、ココじゃ。
この、穴、じゃ…♡

グパァっと開いた肉ビラの奥。
ヌラヌラ、グチョグチョ、湿り気を帯びた、サキュバスの穴。
オトコの肉をくわえ込み、精気をすする、淫魔トリスの、オ・マ・ン・コお♡

おぬしのビキビキにおっ立ったマラを、このマンコの穴でも味わわせてみよ。
おぬしは何も考えず、その猛ったガチガチチンポの衝動を、オスのけがらわしい肉欲を、
ワシのココにぶつけばよい。

遠慮はいらぬ。
ワシはおぬしのその欲を食らいたいじゃ。
勃起チンポの望むままに、ワシのマンコを蹂躪するがよい。

そうじゃ、ソコ、ソコ♡ オマンコじゃ♡

マンコにチンポを、ハメハメするのじゃ♡

ほれほれ、来い、来い♡

ココに、マンコに、オチンポ、来おい♡

…んん、んっはぁ♡ (喜)

ワシのマンコに、淫魔のオマンコにい♡

人間チンポが、ズプっと、ヌプウっと、奥まで一気に貫いておるう♡

ビクビクと脈打つ、オスのマラ…。

ワシの中で身悶えしておるのう…♡

いかんぞ。まだ果てるには早すぎる。

どれほどワシの肉穴が心地よかろうが、まだイってはいかんぞ…♡

ワシももっとおぬしとのファックを楽しみたいのじゃ…♡

せっかくの長い夜じゃ。おぬしのチンポで、ワシを喜ばせてくれ♡

ほおれ♡ ワシのドスケベマンコの感触を、その肉棒で存分に味わうのじゃ。

グネグネとうごめく肉ヒダは、おぬし好みの強さでチンポを締めつけ、離さぬぞ。

生娘のようにキツキツなのか、熟れたメスのトロトロなのか…。
ワシのマンコは、おぬしの望むままじゃ♡

…んん、んふう♡ よいぞ。そうじゃ、もっと勃起じゃ。
限界まで硬あく、ぶっとおく、オチンポ、勃起させてみよお♡

はあん♡ オチンポお♡ 勃起オチンポお♡
ワシの肉ツボ、グポグポ、えぐる♡ 人間チンポ、なかなかよいぞお♡

遠慮せずとも、全力で突いてみよ。
脆弱な人間のメスとは出来ぬ、身勝手に乱暴なファックをワシにかましてみせよ。

…んっはあ♡ よいぞお♡
激しくズコズコ♡ チンポでズコズコお♡
淫魔のエロマン、奥の奥まで、人間オスマラ、ズッコズコお♡

んん、ワシの目に狂いは、なかったようじゃのう。
おぬしのドロドロの肉欲は、んふう、まっこと美味じゃ♡
これならば、ワシの腹も十分に満たせよう。

くっふう♡ ソコソコっ♡ ソコ、突くのじゃ♡
ワシの快樂のツボ、おぬしのチンポで、んっふう♡ 貫いてみせよお♡

はっくう♡ ひさかたぶりに愉快的ファックが出来そうじゃ♡
おぬしのチンポにひと突きされるたび、ワシのマンコが震えるぞお♡

んん、んはっ、あっ、あっふう♡
そうじゃ、そうじゃ♡ その調子じゃ♡
ガッツンガッツン、食るように、ワシの中をかき混ぜるのじゃ♡

あっ、んはっ、んっくう♡
んんっ、んふ、んあっ、あっ、あっ、んはあっ♡

人間ごときのチンポピストンで、んはあっ♡ 淫魔トリスが、ヨがってしまうう♡
オス肉チンポにハメハメされて、サキュバスマンコが喜んでおるうっ♡

んっはあっ♡ コレじゃ♡ この快樂じゃ♡
あさましい肉の快樂っ♡ 欲深いオスとの、下劣な交尾いっ♡
ザーメン吐き出すことしか頭がない、低俗な人間のオスとの、ズコズコバコバコ、お下品
セックスうっ♡

よいぞ、よいぞ、よいぞおっ♡
おぬしのチンポおっ♡ 気持ちがいよいよおっ♡

チンハメ、マンズボ、おセックスうっ♡
グッチョグッチョで、ズッポズポのおっ♡ エっロエロな、ファックじゃぞおっ♡

んっはあっ！ 奥まで、奥まで、チンポおっ！
生意気人間オスチンポおっ！ サキュバスマンコの奥までハメハメえっ！
ズコバコ、ズコバコ、ハメチンポおっ！

んんっ、んはっ、んっはあっ！ あっ、あっ、んん、んはあっ！
あっ、あっ、あっ、あっ、んんっ、んあっ、あっはあん！

そうじゃ、そうじゃ！ 遠慮なく貫いてみせよっ！
ワシの肉ヒダかきわけて、マン奥、ズボズボ、犯しぬけえっ！

はっくう！ ソコソコおっ！ ソコ、よいぞおっ！
ワシの、淫魔の快楽のツボっ！ 淫魔トリスの弱点じゃっ！
亀頭でズンズン、ズンズンズコズコおっ！ 突いて、突いて、突きまくるのじゃあっ！

んおっ、んはっ、んんんっ！ んあっ、はあっ、あっ、あはあっ！
あっ、はっ、はっ、はっ、んあっ、はあっ、あっはあっ！

もっとじゃ、もっとおっ！ もっとシテくれっ！
おぬしのファックで、ワシの渴きを、果てない飢えを、満たしてくれえっ！

んっほおっ！ おっ、おほおっ！
チンポが、チンポが、チンポが、射精っ！
ずっぼし奥までハメチンポ射精いっ！

おっほおおおっ！ ザーメンっ！ 中出しザーメンっ！
ドクドク、ビュービュー、精液発射っ！
欲望たっぷり、栄養満点っ！ オスのドロドロ生搾りザーメえンっ！

美味いっ！ 美味いぞっ！
おぬしの白濁、素晴らしい味わいじゃ！

しかし、まだまだっ！ まだまだワシは満足できぬっ！

そのまま止めるなっ！ ファックを止めるなっ！

ワシが満足するまで、おぬしは腰を振り続けるのじゃっ！
何度も何度も精を吐き出し、ワシの腹の中をザーメンでいっぱいにしろおっ！

んっはあっ、んっほおっ！ おっ、おっ、おっほおっ！

中出しスペルマかきまぜながら、ジュポジュポズボズボ、マンコをえぐるうっ！
絶倫チンポの、激しいファックうっ！
おっほおっ！ チンポおっ！ チンポチンポチンポおっ！

満ちるっ！ 昂ぶるっ！ 淫魔の本能、呼び覚ますうっ！
おぬしとの交尾が、ワシの魂を震わせておるうっ！
この淫魔トリスっ！ 人間チンポで、むっほおっ！ 快楽にアへってしまっておるうっ！

んほっ、おほっ、おっ、おっ、おっほおっ！
んんっ、んおっ、くっふう！ んあっ、んはっ、あっ、んんっ、んっほおっ！

おっ、おっ、おっ、おおっ！ んっほおっ！ おお、んおっ、おっ、んおおっ！
はううっ！ んはっ、ああっ！ あっ、おっ、おっほおおおっ！

また出る、また出る、出る出る、出るうっ！

生ハメチンポのザーメン排泄うっ！ ドクンドクン、大放出うっ！

むっほおうっ！ ザーメンっ！ 中出し精子いっ！
ワシの中から、蕩けさすうっ！ ワシのオンナを刺激する、特濃チンポ汁うううっ！

たまらぬっ！ たまらぬっ！ これはたまらぬうっ！
連続射精でドップドプうっ！ マンコが精子でドップドプうっ！

んっほおっ！ それでっ！ それで、よいいっ！
ワシの穴を使い、思う存分、ぶっこヌくのじゃあっ！
際限のない欲望のジュースを、サキュマン目がけて、注ぎまくれえええっ！

あっはあっ！ おっほおっ！ おっ、んおおうっ！

グッチョングッチョン、お下劣ファックうっ！
中出し精子が染みわたるうっ！
マンコのヒダヒダ、隅から隅まで、オスザーメンが染みわたるうっ！

チンポいいっ！ チンポいいっ！ 人間チンポ、気ん持ちイイいいいんっ！
おおっ！ チンポおおおっ！ オっチンポおおおっ！

チンポ、チンポ、チンポおっ！

チンポ、チンポ、チンポ、チンポっ！ チンポ、チンポ、チンポおおおっ！

オマンコグチョグチョ、チンポでグッチョグチョおっ！

あふれ続けるマン汁とおっ！ 大量中出しチンポ汁うっ！

人間チンポとサキュバスマンコのっ！ グチョドロ変態ケダモノ交尾いっ！

これじゃっ！ これじゃあっ！

理性のたがを外れた、ひたすら射精することだけを願う、あさましいオスとのセックスうっ！

これがワシの大好物なのじゃあっ！

おっほおおおっ！ そうじゃ、好きなだけ出すのじゃっ！

おのれの限界を超え、生命をほとぼしらせるのじゃあっ！

おぬしの欲望はワシが美味しくいただいてやるっ！

ワシのマンコで受け止めてやるうっ！

じゃから、もっとじゃっ！ もっともっと、射精じゃあっ！

んああっ、んおっ、おっほおおおっ！

あっ、おっ、おほおうっ！ おっ、おほおおおっ！

おっ、おっ、あぁっ、んはおっ！ おっ、オッ、オオオウッ！

これなら、ワシもっ！ ワシもイケるうっ！
淫魔のワシでも、アクメできるぞおっ！

見事っ！ 見事じゃっ！ 見事なファックうううっ！
イクっ！ イックうううっ！ サキュバスアクメえええっ！

オッ、オッ、オホオウッ！ ンホッ、オホッ、オッホオオオッ！
イグイグイグうっ！ イグ、イグうううっ！

絶頂マンコを、追撃ピストンっ！
イグイグイグイグっ！ イグイグ、イっグうううっ！

んっぐぐ、ンオオッ！ オッホッホオオオウッ！

ズンズンズコズコ、オチンポピストンっ！
ザーメンブピュブピュお漏らししながら、おかまいなしに突きまくりいっ！

連続発射でザー汁ダダ漏れ、ズッチュンズッチュン、汁ダク交尾いっ！

ここまでワシを楽しませてくれるとは、んホォウッ！
想像、以上の、ンンッ、逸材じゃ…！

ンッハァッ！ ほしいっ！ おぬしが、ほしいっ！
今宵だけではもったいないっ！
おぬしの精のすべてを、ワシのすべての穴でしゃぶり尽くしてやりたいっ！

どうじゃ？ ワシのものにならぬか？
おぬしの魂とその肉を、ワシの慰み者として捧げてはくれぬか？

かわりに、ワシのマンコもおぬしにくれてやるぞ？
苦しみばかりの現世から抜けだし、この淫夢の世界で、ワシと共にくんずほぐれつ、快楽の果てを目指そうではないかっ！

…アァッ、ンァッ、オッ、オホォウッ！？ 契約受諾の、オチンポ突き込みいっ！
ガチフル勃起の人間チンポで、子宮の入り口こじ開けようと、ズッポシ奥まで、全力串刺しいっ！

そして、ンッホオオッ！　また射精いっ！
淫魔を孕ませようと、子宮に直接、ザーメン射精いいいっ！

ムッホオッ！　これは、これは、キックうううっ！
人間精子のオタマジャクシが、淫魔の子宮をこじ開けるっ！
ワシに捧げる、覚悟の射精いっ！

素晴らしいっ！　素ん晴らしいいっ！
淫魔に魂を売った、愚かな男の、なんとけなげで、愛すべき射精いっ！

これはっ！　これはっ！　これは、イングううううんっ！
子宮がパクパク、パクパク開くうっ！
サキュバス子宮で、人間オス汁、ゴクゴク飲み干すうっ！

干からびるまでキンタマ子種を絞り出せっ！
おぬしのすべてをワシの中に注ぐのじゃあぁっ！

ンッホオオオッ！　最高っ！　最高じゃっ！
最高のアクメっ！　メスの喜びいいいっ！

おぬしの覚悟に応えるために、ワシの子宮が絶頂するうっ！
イグイグイグイグっ！　イグイグイグイグっ！

淫魔のオマンコ、ザーメン中出しっ！
オッホオオオッ！　イグイグっ！　イギまくりいんっ！

淫魔トリスのメスマンコおっ！　おぬしのチンポとザー汁でえっ！
絶頂しまくり、イギまくりいいいんっ！

アッ、オッ、オオホオオオウッ！
絶頂、絶頂、大絶頂っ！　何度も何度もアクメするうううっ！
子宮をスペルマタンクにされて、果てしのないアクメ地獄じゃあっ！

クッフウッ！　ンツハアッ！　オッ、オッ、オッホオオオッ！
子宮の、子宮の入り口にいつ！　オチンポ亀頭をねじ込んでへえっ！
子作り袋の中までも、オスのチンポで犯されておるうううっ！

そうじゃそうじゃ、それでよいっ！
ワシを心底満足させるには、それくらいでないと、ンホッ、いかぬうっ！

ンッホッ！　ンッホッ！　ンオッ、オホオオオウッ！
イグイグっ！　クルクルっ！　そこまで来ておるうっ！

ンッホオッ！　さあさあっ！　いざ参らんっ！
ワシと共に、まだ見ぬ至上の悦楽に到達しようではないかっ！
淫魔トリスのサキュバスマンコと、究極オルガを迎えようぞおっ！

アッ、ンアアッ、ンオオッ！　オッ、オッ、オッ、オオオッ！
オッ、ンオッ、ンッハアッ！　アッ、ンアッ、アッハアアアンッ！

アッ、アッ、オッ、オッ！　オッ、オオオッ、ンハッ、アハアッ！
ングッ、ンオッ、オッ、オッ、オオオウッ！
オオッ、ンアッ、ンヒッ、ンホッ、オッ、オッ、ンッホオオオッ！

来るのじゃ、来るのじゃっ！　発射するのじゃあっ！
キンタマ子種がカラになるまで、撃って撃って、撃ちまくれえええっ！

ンホッ、ホヒッ、ハヘッ、ハヘエエエッ！
人間ごときのオチンポでっ！　下等種族の中出し射精でえっ！
このワシ、上級淫魔のトリス様があっ！　アヘアヘ絶頂っ！　アヘアヘアへえええっ！

ビュルビュルビュルビュル、ザー汁っ！ ザー汁うううっ！
オマンコ満タンっ！ ザーメン満タンうっ！
全力射精で、アクメるぞおおおっ！

おぬしのファックで大満足のっ！ ドスケベ淫魔の、ドスケベアクメえええっ！
ド下品お下劣アへ顔さらして、ドスケベにイグウッ！ イグイグ、イッグウウウッ！

オッ、オッ、オオオウッ！ ンオッ、オオオッ、オッホオオオオオウッ！
イッグウウウッ！ イッグウウウッ！ イグッ！ イグッ！ イイッグウウウンッ！

オオッ、オオッ、オオオッ！ オオッホオオオオオオンンンッ！

…ああ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ…。
…はあ、はあ、はあ、はあ、んあ、ああ、んん、んはあ…。

…フフフフフ…。
欲望に抗えず、最後までイタしてしまったのう♡

これで、おぬしはワシのものじゃ。

その魂が搾りカスになるまで、ワシが喰らってやるからのう。

さあ、またおぬしを味わわせてくれ。
この夢幻の中で、永劫、まぐわい続けようぞ。

…フフフフ、クハハハハハハ…。

…フハハハハハハハハハ…。

・チャプター4「夢魔の世界でエンドレスファック」

…ああ、はあ、んあ、ああ、ん、んは、あっ、んふう。
んは、ああ、あっ、あはあ。んん、んはっ、あっ、ああんっ。

あっ、んあっ、んお、あっふう。んふ、んあ、あっ、んっくう。
んん、んあ、あっ、あはあ、んっ、んはっ、あっ、ああっ。

あっ、んはっ、はっ、んふうっ。んあっ、ああっ、んんっ、んはあっ。
あっ、あっ、んんっ、ああっ。あひっ、んはっ、あはあ、んっ、んくっ、あふう。

はうう、んお、んはっ、あっ、んふう。んんっ、んあ、あっ、あっ、んああっ。
んっふう、んん、んっは、あっ、ああ、んはあ。んん、んあ、あっ、あはあ。

んんっ、んあっ、あっ、んふ、んっふう。んはっ、あう、んむっ、んっくう。
んふ、ああ、んふ、んは、ああ、あっふう。んん、んはっ、あっ、あはあっ。

あっ、んく、んは、ああ、んっ、んっふう。んんっ、あはっ、あっ、んはあっ。
あっ、ああっ、あっはあん。んくっ、んはっ、あっ、ああっ。

はあっ、んふっ、んはっ、あっ、あっはあ。んあっ、んおっ、んふっ、んっはあ。
あっ、んはっ、んっくう。んん、んあっ、あっ、あああっ。

はっ、はっ、んっはあ、んんっ、んふっ、んっはあっ。
あっふう、んふ、んはっ、あっ、あっ、あはあっ。

んひっ、んん、んおっ、あっ、んあっ、あふうっ。
んんっ、ああっ、あはあっ、んあっ、んはっ、はっ、はああっ。

んはっ、んあっ、んんっ、んひいつ、ああっ、んはっ、あああっ♡
はあっ、はあっ、んっはあっ♡ んっふう、んはあっ、あっ、あはあっ♡

んっくう、あっひい、んひっ、んはっ、あっ、ああっ♡
あっ、あっ、んあっ、ああっ、んんっ、んはっ、あっ、んはあっ♡

んあっ、んうっ、あっ、あふうっ♡
んひっ、んっ、あっはあ、あっ、んはっ、あっはあんっ♡

あっ、んんっ、んあっ、あっはあっ♡
んふっ、んはっ、あっ、あっ、んんっ、んあっ、ああっ♡

あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あぁっ♡
んはっ、あぁっ、はっ、はっ、はぁん♡

あひっ、んひっ、んんっ、んはぁっ♡ んっ、んあっ、あっ、あはぁっ♡
あっ、あっ、んあっ、んあぁっ♡ んっひい、んっ、んはっ、あっ、んはぁっ♡

んあっ、んおっ、あっ、おっ、おおっ♡ んふっ、んはっ、んおおっ♡
あぁっ、おっ、んおおっ♡ はぁっ、んあっ、あっはぁっ♡

あぁっ、んあっ、んはっ、はっ、はっ、んっはぁんっ♡
あっ、あっ、んんっ、んっくうっ♡ んあっ、あぁっ、あっ、あはぁっ♡

あっ、あっ、あっ、あぁっ♡ あっ、あっ、あっ、んはぁっ♡

あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっ、あっ♡
あっ、あっ、あっ、あっ、アッ、アッ、アッ、アアッ♡

んっ、んアッ、アッ、アハアッ♡
ンハッ、んんっ、ンッフウ、アッ、アアッ、ンハアッ♡

ンッ、ンンッ、アッ、ンハッ、ハッ、ハッ、アッハアッ♡
アッ、アッ、ンハッ、アハアッ♡ んくっ、ンアッ、アッ、アアアッ♡

アッ、ンンッ、ンアッ、アアッ♡ アッ、おっ、オオオッ♡
ンハッ、ンアッ、アッ、んおおっ♡ ハフッ、ンハッ、アアッ、オオッ、ンツハアンッ♡

ンヒッ、ンハッ、アッ、ンハアンッ♡
アッハアッ、んおっ、ンハッ、アハアッ♡

アッ、アッ、アッ、アッ、アッ、アッ、アッ、アッ♡
アッ、アッ、アッ、アッ、アッ、アッ、アッ、アアッ♡

アッ、アッ、アッ、アッ、アッ、アッ、アッ、アッ♡
アッ、アッ、アッ、アッ、アッ、アッ、アッ、アアッ♡

アッ、アッ、ンアッ、アアッ♡ ンンッ、ンアッ、アッ、アハアッ♡
アッ、ンッ、ンアッ、アッ、アッ、アッ、ンハッ、ハアンッ♡

んッフウ、ンハッ、アハッ、ンアッ、ンアッ♡
アアッ、ンンッ、ンハッ、アッ、アッ、ンツハアッ♡

アッ、ンンッ、んおっ、アアッ♡ んっくう、アフウッ、ンッ、ンアッ、アハアンッ♡
アッ、アッ、ンンッ、ンハアッ♡ ンッ、ンアッ、アッ、アアッ♡

ンッフウッ♡ ハフウッ♡ ンハッ、アハッ、アッ、アアアアッ♡
アッ、ンッ、ンッフウッ♡ アアッ、ンアッ、おっ、んおおっ♡

アアッ、んおっ、おっ、おおっ！ ンツハア、アツハアッ、アッ、おっ、おおっ！
アッ、アッ、おっ、おっ、んおっ、んおっ、おおっ！

ンンッ、ンハッ、アッフウッ！ ンアッ、アアッ、おっ、んおおっ！
ンフッ、ンアッ、アッ、おおっ！ アッ、アッ、おっ、おおっ！

ンアッ、んおおっ、おっ、おっ、おおっ！ おっ、おっ、おっ、んおおっ！
ンツハア、んおおっ、おっ、おっ、おほおっ！

ンンッ、ンハッ、んっほおっ！ ンハッ、アハッ、ンンッ、おほおっ！
おっ、おっ、おっ、おっ、んおっ、おおっ、おっほおっ！

ンツハアッ、ンンッ、ンハッ、アッ、オッ、んほおっ！

んっほお、んっくう、アヒッ、ンヒッ、ンンンンッ！

んおっ、んおっ、んおっ、おほおうっ！
ンッヒィッ、ンハ、アハッ、アッ、おっ、んほおっ！

ハッ、ハッ、ヒッ、ヒッ、ンヒッ、ハヒッ、んっほおっ！
アフッ、んほ、んんっ、おっほおうっ！

おっ、おっ、おっ、おっ、んおっ、おおっ、オッホオッ！
ンハッ、ンオッ、オオッ！ オッ、オッ、オッ、ンホオウッ！

ンン、ンホッ、オッ、オオオッ！ ンフッ、ンホッ、オッ、オホオッ！
ンオッ、ンオッ、ンンッ、ンッヒィッ！ ンハッ、アハアッ、ンハアッ！

ハッ、ンハッ、フッ、フッ、ンンッ、ンクッ、ンアッ、ンオッ！
オッ、オッ、オッ、オオッ！ ンオッ、ンオッ、ンンッ、ンッホオウッ！

ハアッ、ンハアッ！ ンンッ、ンッホオッ！
ンハッ、アフッ、ンッ、ンックウウウッ！

ハッ、ンホッ、ホッ、ホオッ！　ンホッ、オホッ、オッ、オオオウッ！
フッ、フッ、ンハッ、ンオッ！　オッ、ンンッ、ンッフウッ！

アアッ、ンハアッ、ンオッ、オホオウッ！
ングッ、ンオッ、オッ、オオッ、ンアッ、アハッ、ンツハアンッ！

ハアッ、ンアッ、ンンンンンッ！　ンフッ、ンオッ、オッ、オアアッ！
アツハアッ！　ンンッ、ンホッ、オッ、ンオッ、オツホオッ！

ンンッ、ンオッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、ンオオオオッ！
オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オオウッ！

オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オッ、ン
ホオッ！
オッ、オッ、オッ、オッ、ンオッ、オオッ、オッ、オホオッ！
ンオッ、オオッ、オッ、オッ、オッ、オッ、オツホオオオウッ！

ンッフウ、オッフウッ！　ンオッ、オオッ、オッ、ンホオッ！
ンンッ、ンハッ、ングググッ、ンオッ、オオッ、アッ、ンハアアアッ！

はうっ、ンアッ、アッ、ンオオッ！
んっくう、ンハッ、ンアッ、ンオッ、オオッ、アッハアアアンッ！
ンンッ、ンオッ、ンアアッ！ オッ、オッ、ンッホオオオッ！

アアッ、ハアッ、ンッハアッ！ ンホッ、ンホッ、オッ、オホオッ！
んっぐぐ、イグイグっ！ イグイグ、イググウウウッ！

ンホッ！ ンホッ！ オッホオオオッ！
オッ、オッ、オオオッ！ ンオッ、オオッ、オッ、ンオオオオウッ！

ンググウッ！ ンン、ンホッ！ オッ、オオッ、オッホオオオッ！
イググウ、イグッ、イグッ、イツ、イツ、イググウウウンッ！

ンッホオ、オオッ、オッ、オッ、オホオオオウッ！
オオウッ！ オオウッ！ ンオッ、オオッ、オオオオッ！

ホッ、ホッ、ホオウッ！ ンッホ、オオ、ンオッ、オッ、オッ、オホオオオウッ！
ンンッ、ンホッ、ンッヒィッ！ ングッ、ンオッ、オオオウッ！

オオ、イグッ！ オオ、イグッ！ イググウ、イグイグウッ！

ンッホオッ！ オッホオッ！ オッ、オッ、ンオホオオオッ！

ホッ、ホオッ、ンホオウッ！ ンホッ、オホッ、オッ、オッ、オッホオッ！
オッ、オッ、イグイグッ！ ンオッ、オオッ、ングッ、ンンンンッ！

ンッハアッ！ アッ、オオオッ！
アオオウッ！ アオオウッ！ アッ、ングウウウッ！

オオオッ、ンオッ、ンッホオッ！ オッ、オッ、オッ、オオオウッ！
オッ、オオウッ！ ンッ、ンホオッ！
ンオッ、ンオッ、オッ、オオオオオオオオオウウンッ！

…んふう、ああ、はあ、はあ…。
…はあ、はあ、んう、ああ、はあ、はあ、はあ、はあ…。
…んん、んふ、ああ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ、はあ…。

…んん、んふ、ああ、んん、んっ、あはあ。
ああ、んは、んん、んふ、はあ、はあ、んん、んはあ。

んんっ、んあ、ああ、んっ、んっくう。

んあ、んは、んんっ、んはあ。

あっ、んっ、んふうっ、んあ、ああ、んっ、んんっ。

んあっ、あふっ、んっ、んっくう。あっ、はあっ、んんっ、あはあっ。

んんっ、んあっ、あっ、あっ、んふ、んはっ、あっ、ああっ。

ああ、あっ、んは、んふう。んんっ、んあっ、あっ、あっ、あっ、んあっ、んはあっ。

あっ、あっ、あっ、あっ、んはっ、んんっ、んあっ、あっ、あはあっ、んっ、んあっ、あ
っ、あっ、んああっ…。

～終わりにき交尾へ…～